

令和5年9月8日

課名 総務局 研究開発課

担当者 研究開発担当部長(兼)

研究開発課長 木村

内線 2404

令和5年度 県立総合技術研究所 東部工業技術センター 「支援事例発表会」の開催について

1 要旨・目的

県立総合技術研究所 東部工業技術センターにおいて、保有する技術及び試験・研究機器の活用事例を事業者や業界等に広く紹介し、センターの利活用の促進を図るため、「支援事例発表会」を開催する。

2 現状・背景

センターの取組や保有技術等を広く紹介し、更なる利用、支援機会の創出を図るため、毎年開催している。

3 概要

(1) 実施主体

県立総合技術研究所 東部工業技術センター

(2) 実施期間（日時）

令和5年10月25日（水）13:30～16:00

(3) 場所

県立総合技術研究所 東部工業技術センター 2階講堂

（福山市東深津町三丁目2-39）

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、Web開催とする。

(4) 実施内容

ア 講演（13:30～15:05）

- ・探索時間80%軽減！無線マイコンを利用した台車探索システムの開発
- ・立体形状物における摩擦かくはん接合技術の適用について
- ・かき殻による機能性壁材の開発
- ・製品の3Dモデル化について
- ・高分子材料における異物分析手法について
- ・振動試験機の活用事例について

イ 見学会（15:10～16:00）

- ・摩擦かくはん接合装置
- ・振動試験機
- ・FE式走査型電子顕微鏡
- ・X線CTなど



令和5年度 県立総合技術研究所

東部工業技術センター 支援事例発表会

参加費 無料

要事前申込

どなたでも参加可能

センターを活用した課題解決や、設備・機器利用に興味のある方にお勧め

- 1 日時 令和5年10月25日(水) 13:30～16:00
- 2 場所 県立総合技術研究所 東部工業技術センター 2階講堂
(福山市東深津町三丁目2-39)
- 3 内容
(1) 講演 (13:30～15:05)

表題	内容	発表者	時間
探索時間 80%軽減！無線マイコンを利用した台車探索システムの開発	工場内仕掛品（染色前の生地を載せた台車）の探索に時間がかかる問題に対し、作業者が呼び出すと音と光で位置を知らせるシステムを東部 C と共同で開発しました。このシステムの概要についてご紹介します。	山陽染工株式会社 品質管理部 次長 藤山 大嗣 氏	13:30 ～ 14:00
立体形状物における摩擦かくはん接合技術の適用について	従来、平板同士の接合に使われることが多い摩擦かくはん接合技術を、平板と円筒（パイプ）を組み合わせた立体形状継手の接合に適用しました。本技術の概要についてご紹介します。	加工技術研究部 担当部長 松葉 朗	14:00 ～ 14:20
かき殻による機能性壁材の開発	かき殻と樹脂等を配合し、塗料タイプの壁材を開発しました。外装用対応としての耐候性試験や光触媒性能評価結果についてご紹介します。	材料技術研究部 副部長 倉本 恵治	14:20 ～ 14:35
製品の3Dモデル化について	X線CT・3Dデジタイザ等による製品形状の取得及び3Dモデル化について、利用事例をご紹介します。	加工技術研究部 研究員 山形 亮太	14:35 ～ 14:45
高分子材料における異物分析手法について	走査型電子顕微鏡（SEM）及び赤外分光光度計（FT-IR）等を用いた異物分析の方法についてご紹介します。	材料技術研究部 部長 青山 進	14:45 ～ 14:55
振動試験機の活用事例について	振動試験機は電気・一般機械等の振動に対する耐久性を評価する際に使用します。昨年度導入された新しい振動試験機の活用事例をご紹介します。	加工技術研究部 主任研究員 佐々木 秀和	14:55 ～ 15:05

- (2) 機器見学 (15:10～16:00)

※ 見学は希望者を対象とします。見学の事前申し込みは不要です。

見学機器：摩擦かくはん接合装置、振動試験機、FE式走査型電子顕微鏡、
赤外分光光度計、X線CT、3Dデジタイザ、3Dプリンタ等

問い合わせ先：084-931-2402
ekcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

広島県 東部工業技術センター

検索